

株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援、ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第65期第2四半期累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)につきましては、4月からの薬価引き下げに加え、新たな後発医薬品使用促進策の実施など、医療費抑制政策が強化されましたが、新製品を中心とした主力製品の積極的な学術情報活動などにより、増収を達成することができました。

現在、医薬品業界においては、新薬創製の成功確率が年々低下し、世界的に研究開発コストが増大する一方、種々の医療費抑制政策が進展するなど、厳しい環境が続いています。こうしたなか、わたしたちは三つの取り組みを一層推し進めています。

国内市場の営業基盤の強化

薬価の改定や医療費抑制のための諸施策による影響を最小限に抑えるべく、新製品の評価を早期に確立し、売上拡大に努め、売上に占める新製品の比率を高めていきます。

開発パイプラインの拡充

世界最先端の技術を活用した、独創的かつ画期的な医薬品創製を加速する取り組みを進めるとともに、積極的なライセンス活動にも注力していくことで、今後も継続的な新薬上市につながる開発パイプラインの拡充に努めていきます。

海外での自社化合物の承認取得

自社で生み出した新薬を世界中でご使用いただけるよう、グローバルな事業展開を推進していきます。まずは、提携企業への導出や海外企業との連携・提携により、自社創製化合物が海外で承認を取得し、発売されることを目指します。

当社は、「病気と苦痛に対する人間の戦いのために」という経営理念のもと、いまだ満たされない医療ニーズに応えるため、真に患者さんのためになる革新的な新薬の創製を目指し、積極的な努力を続けていきます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 相良 暁